

中堅教諭等研修資質向上研修第Ⅱ期研修資料

(主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善)

北海道白樺高等養護学校 瓜生裕晃

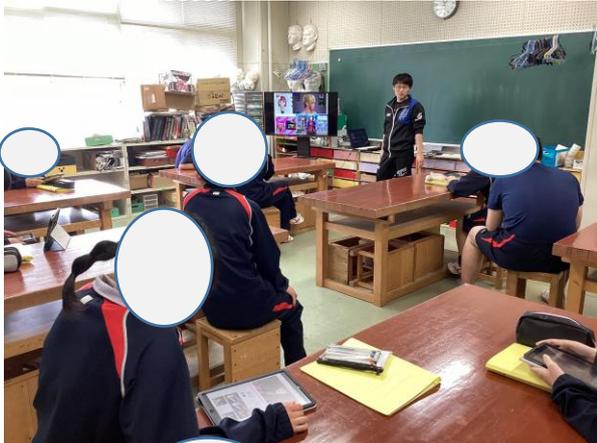
課題設定シートより授業改善をするテーマ

【視点3】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を支える手立て

【視点4】全ての児童生徒が安心して学ぶことができる環境づくり

特に、ICTをツールとして活用して個別最適な学びと協働的な学びという充実させるという点で授業改善をおこないました。(10月から後期の美術のメンバーに入れ替わったタイミングで全4回の学習)

色彩の題材で色彩心理効果について学習をする際に、テレビのパワーポイントを使って見られるようにしていたが、それに加えてGoogle クラウドやドライブを活用し、手元のiPadで資料を閲覧できるようにした。



本校ではiPadを学習用具として1学年のときから活用しているため、使い慣れてきている生徒も多く、自分で拡大して見たり、検索したりして進めることができていた。完成した作品については写真を撮ってもらい、ドライブにいれることで、鑑賞の際もみんなの作品を見ることができ、コメントなどもいれることができた。

既存のキャラクターに心理効果を活用して普段と違うイメージカラーに着色する制作では、手元の資料を見ながら、「情熱的なピカチュウ」「危険なドラえもん」などテーマを元に取り組むことができた。

仮面の着色ではデザインを紙に着色する方法とiPadのアイビスペイントで着色する方法を2つにすることで、自分で得意な方法を選んで活用し、デザインを考えることができた。仮面制作については、前期のときよりも表現に幅を持たせ、塗り分け以外の要素として仮面をハサミで切って短くしたり、紙粘土で増やしたりして、主体的に進められるように工夫した。



令和6年度 第2学年（生～窯科）美術【火】 学習指導略案③

単元名	色彩「色彩効果」「マスクデザイン」	題材名	『色彩③』～色彩効果～
日時	令和6年10月29日(火)3・4校時	場所	美術室
生徒	2年 工業・家庭総合・窯業 12名	指導者	瓜生、林ゆ、河上
目標	<ul style="list-style-type: none"> 色の心理効果（視覚的印象、触覚的印象、感情的印象）に興味を持つことができる。 絵の具等の描画材を活用し、配色やデザインを考えマスクに着色できる。 		
	学習内容	学習活動	留意点
11:00～	<ul style="list-style-type: none"> ○集合 ○あいさつ ○出席確認 ○本時の学習 	<ul style="list-style-type: none"> 美術室に集合。学級ごとに着席。 指名された生徒が日直となり、号令。 本時の学習内容について理解する。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○色彩心理 ○マスクレード制作 	<ul style="list-style-type: none"> 制作した色相環や参考資料から、視覚的印象、触覚的印象、感情的印象について振り返る。 各心理効果を生かして、既存のキャラクターに塗り絵を行う。 iPadを活用し、「元気」「明るい」など自分で考えたキーワードに合った配色やデザインを調べる。 選んだ配色を生かしてマスクに着色をする。 	<ul style="list-style-type: none"> PP iPad 塗り絵用紙、色鉛筆 マスク、絵の具、マジック、色鉛筆、筆、水差し、新聞紙、パレット
12:15～	<ul style="list-style-type: none"> ○掃除、後片付け 	<ul style="list-style-type: none"> 机の上の消しゴムのかす等を捨てる。 マジック等の描画材は棚へ戻す。 水差しやパレットは、所定の位置に裏返して立てて干す。 筆は洗った後、指定された水差しに柄を下にして置く。 新聞紙は畳んで教卓へ置く。 雑巾で机を拭く 	<ul style="list-style-type: none"> ※汚れた新聞紙や、水で濡れた物はまとめて捨てるよう指示。
12:30	<ul style="list-style-type: none"> ○次週の確認 ○あいさつ 	<ul style="list-style-type: none"> 次回で完成であることを確認する。 指名された生徒が日直となり、号令。 	

職業 学習指導案（略案）

単元名	今後の流れと実習評価の整理	指導日時	令和6年10月21日（月）1校時
題材名	現場実習	学習場所	視聴覚室・各学級
対象生徒	3学年 6学科29名	指導者	鳴海、千葉隆、担任
本時の目標	①自分の進路活動について、学習帳を使って理解することができる。 【知・学びに向かう力】 ②実習評価を整理し、長所の伸長・課題改善の取組を考えることができる。 【思・判・表】		
事前連絡	・持ち物：生徒用イス・筆記用具・バインダー		
時間	学習活動内容	教師の指導	留意点/ 教材・教具
5分 (5)	【全体での学習活動】 ・姿勢を正して挨拶をする ○導入 ・本日の流れ ①進路学習帳の使い方 ②今後の流れの確認 ③実習評価の整理	・挨拶する生徒を募る。 ・今日の見通しを伝える。	・学習帳
10分 (15)	①進路学習帳の使い方 ・内定をもらうまでの進路活動に活用 ・卒業後も困ったことがあったら活用 ②今後の流れの確認 ・一般就労の人の流れ ・福祉サービス利用の人の流れ	・かみ碎きながら説明する。 ・流れの詳細は次回に詳しく行う。	・評価表は生徒へ渡さない。
5分 (20)	③実習評価の整理 ・整理の要点を伝える ⇒長所・課題に対して、学校生活で取り組むことを具体的に記入する等。 ○まとめ ・このあとの流れを確認 ・次回の予告	・年明けのケア会議で、必要な情報になることを伝える。	
30分 (50)	【学級での学習活動】 ③実習評価の整理 ・個別に担任から、実習で見られた長所と課題を確認し、学習帳に記入する。 ・長所・課題に対して、学校生活で意識する取組を学習帳に記入する。 ※学習帳の提出期日：10/25（金） ⇒実習評価のページをすべて記入。	・実習評価表や、巡回日誌等から、本人の長所・課題を分かりやすく伝える。 ・期日までに、自分で進路担当へ提出するよう伝える。	

担任の先生へ

■始めに全体授業を行います。

場 所：視聴覚室

持ち物：生徒用椅子、筆記用具、バインダー

※この授業から、新しい「進路学習帳」を配付し、授業を行います。生徒へは、当日、視聴覚室で配布します。

※先生方用は、学習指導案と一緒に配付した冊子を御活用ください。

【第3学年 進路学習帳作成の趣旨】

①生徒全員が異なる進路スケジュールで進むことから、生徒が自分で管理できる資料が必要だと感じたため。

⇒生徒自身が流れを把握する、必要な準備に対して計画を立てる等、大人からの指示で動くのではなく、自分事として活動に取り組んでもらいたいと考えました。

②これから、職業で行う内容は、福祉サービスの申請や卒業後に関わる支援機関について学ぶ機会が多くなるため。

⇒学校を卒業しても、困った時に学習帳を開いて、本人・保護者が必要に応じて確認できる資料が必要だと考えました。

■全体授業終了後、各学級に戻り、実習評価内容の整理をお願いします。

・すでに各生徒へ周知していただいておりますが、改めて、実習評価表に記載されている長所や課題について、伝えていただき、学習帳に記入するよう指示をお願いします。

⇒実習先から伝えられた長所・課題について、今後の学校での取組を生徒自身で考え、記入する流れとなります。

※担任の先生は、お渡しした実習評価表や巡回日誌の準備をお願いいたします。

■本時の取組について確認を行いますので、学習帳を集めます。

提出期限：10/25（金）13:15 厳守

提 出 先：進路指導部外勤3年生担当者まで

※本時間で記入できなかった箇所は、宿題として各自取り組んでもらえたらと思います。

※提出する際は、各自で職員室に来室し、提出するよう指示をお願いします。

※入退室時の様子や、各自期日までに提出できるかも併せて確認したいと考えています。

※回収した学習帳は、10/28（月）の職業で返却します。

2学年 国語

【生徒の実態】

本クラスは男子 4 名女子 4 名の 8 名で構成されている。学年の中ではハイグループに位置し、基礎的な国語の知識や会話能力は比較的高い生徒が多い。普段の学習では積極的な発言をする生徒がいる一方で、自分の考えを表現するまでに時間を要する生徒もいる。また、記述による表現については時間がかかり、自分の言葉で表現することが難しいため、模範解答の模倣に終始してしまう生徒が複数見られる。

本単元では個人端末を使った本の帯作りを通して、書字の負担を軽減しつつ読んだ本の魅力を短い言葉で表現する場を設けることで、表現力の育成を目指したい。

【単元の目標】

単元名	本の帯作り	総時間数	3時間	9月
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・帯の効果と種類を知る ・紹介したい本に合った帯の種類を選ぶことができる。 			
思考力・判断力 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・本の内容やおすすめのポイントを的確に伝えることができる。 ・鑑賞した内容を伝え合うことができる。 			
学びに向かう力 人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を生かして学校祭ポスターを作ることができる。 			

【指導計画：1時間目】

本時の目標		<ul style="list-style-type: none"> ・帯の効果と種類を知る ・紹介したい本に合った帯の種類を選ぶことができる。 			
時間	学習内容	教師の支援・留意点	主	対	深
15分	○本の帯の役割や様式を知る。	・PP を使って帯の例示をすることで視覚的な支援をする。			
20分	○紹介したい本を選ぶ。	・本のジャンルや文章量、表紙から大まかな内容を推測しながら、紹介しやすい本を選べるよう支援する。	○		

【授業の様子：1時間目】

学習内容	生徒の様子
○本の帯の役割や様式を知る。 ○紹介したい本を選ぶ。	・興味を持って話を聞き、画面と説明に集中していた。 ・主体的に本を手に取り、表紙や中身を確認する様子が見られた。内容や選び方について自分から相談に来る生徒が多く見られた。

【まとめ】研究授業を通してわかったことや感想など

前半の説明に時間がかかった。様々なパターンを紹介したい思いはあったが、今回生徒が使いそうな物だけの紹介にする手もあったかもしれない。

【成果と課題】

○支援でよかったことやうまくいったこと

・PPによる視覚的な支援は有効だった。プリントで見るよりも生徒の興味関心を引き出すことができた。

●うまくいかなかったことや改善点

2学年 国語

【生徒の実態】

本クラスは男子 4 名女子 4 名の 8 名で構成されている。学年の中ではハイグループに位置し、基礎的な国語の知識や会話能力は比較的高い生徒が多い。普段の学習では積極的な発言をする生徒がいる一方で、自分の考えを表現するまでに時間を要する生徒もいる。また、記述による表現については時間がかかり、自分の言葉で表現することが難しいため、模範解答の模倣に終始してしまう生徒が複数見られる。

本単元では個人端末を使った本の帯作りを通して、書字の負担を軽減しつつ読んだ本の魅力を短い言葉で表現する場を設けることで、表現力の育成を目指したい。

【単元の目標】

単元名	本の帯作り	総時間数	3時間	9月
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・帯の効果と種類を知る ・紹介したい本に合った帯の種類を選ぶことができる。 			
思考力・判断力 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・本の内容やおすすめのポイントを的確に伝えることができる。 ・鑑賞した内容を伝え合うことができる。 			
学びに向かう力 人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を生かして学校祭ポスターを作ることができる。 			

【指導計画：2時間目】

本時の目標		・本の内容やおすすめのポイントを的確に伝えることができる。			
時間	学習内容	教師の支援・留意点	主	対	深
35分	○帯を作る	<ul style="list-style-type: none"> ・クロームブックを使って編集するよう指示する。 ・実態に応じて複数のパターンで帯を作るよう指示する。(感想、要約、キャッチコピーなど) 	○		○

【授業の様子:2時間目】

学習内容	生徒の様子
○帯を作る。	クロームブックを使いながら主体的に帯を作る様子が見られた。 作品に合わせて帯のジャンルを使い分ける様子が見られた。

【まとめ】研究授業を通してわかったことや感想など

【成果と課題】

○支援でよかったことやうまくいったこと

クロームブックを使うことで書字の困り感なくスムーズに作品作りに取り組めた。

●うまくいかなかったことや改善点

前時に紹介した帯の例が見えるところがあると良かった。

2学年 国語

【生徒の実態】

本クラスは男子 4 名女子 4 名の 8 名で構成されている。学年の中ではハイグループに位置し、基礎的な国語の知識や会話能力は比較的高い生徒が多い。普段の学習では積極的な発言をする生徒がいる一方で、自分の考えを表現するまでに時間を要する生徒もいる。また、記述による表現については時間がかかり、自分の言葉で表現することが難しいため、模範解答の模倣に終始してしまう生徒が複数見られる。

本単元では個人端末を使った本の帯作りを通して、書字の負担を軽減しつつ読んだ本の魅力を短い言葉で表現する場を設けることで、表現力の育成を目指したい。

【単元の目標】

単元名	本の帯作り	総時間数	3時間	9月
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・帯の効果と種類を知る ・紹介したい本に合った帯の種類を選ぶことができる。 			
思考力・判断力 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・本の内容やおすすめのポイントを的確に伝えることができる。 ・鑑賞した内容を伝え合うことができる。 			
学びに向かう力 人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を生かして学校祭ポスターを作ることができる。 			

【指導計画：3時間目】

本時の目標		<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞した内容を伝え合うことができる。 ・学習を生かして学校祭ポスターを作ることができる 				
時間	学習内容	教師の支援・留意点		主	対	深
25分	○お互いの作品を鑑賞する	・クロームブックを使ってコメントをするよう指示する。			○	
20分	○学校祭ポスターをつくる。	・学習を生かして写真に一言を添えるよう指示する。(クロームブック)				○

【授業の様子:3時間目】

学習内容	生徒の様子
○お互いの作品を鑑賞する	・コメントを入力し合い、互いに評価し合う様子が見られた。
○学校祭ポスターをつくる。	・学習したことを生かして工夫されたポスターを作っていた。

【まとめ】研究授業を通してわかったことや感想など

【成果と課題】

○支援でよかったことやうまくいったこと
相互の評価即時的に入力・閲覧できていた。

●うまくいかなかったことや改善点

実際の学校祭ポスター作りに生かされたかは評価しにくかった。

中堅研 国語 授業実践報告

～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善～

1

単元の概要

- 対象：2年生
- 単元「読む」（本の帯作り）
- ねらい「文章を読んでわかったことを伝えたり、感想を持ちたりすることができる。」
- 時数：3時間

2

単元の概要

- 1 h：オリエンテーション、帯の説明、本選び
- 2 h：帯作り
- 3 h：鑑賞、発展課題

3

1時間目

- オリエンテーション…P.Pを使って帯の役割や種類についての説明しました。
- 本選び…図書室で本を選ぶ。表紙や中身、自分が読めそうな文章量などで本を選びました。

主体的

知・技



4

2時間目

- ロイロノートを使って帯を作る

思・判・表

ICT
活用

5

本の表紙

虫食いのページ、美しい色遣い
何回読んでも面白い

6

本の表紙

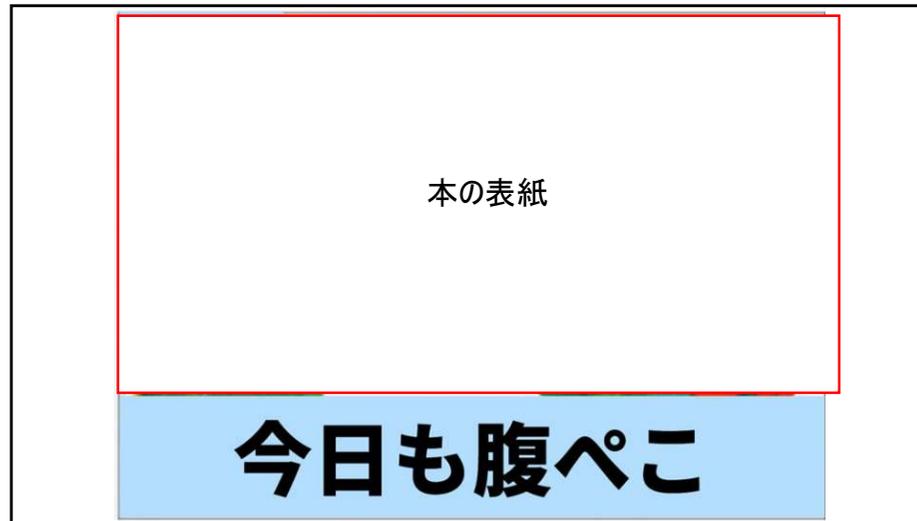
うちの息子も大絶賛
「お父さんもう一回読んで！！」

7

本の表紙

月曜日、りんごを一つ食べました。

8



9

3時間目

- お互いの作品を鑑賞してコメントをし合う。
- 発展課題に取り組む。

10

作品紹介

11

授業反省より

- 興味を持って話を聞き、画面と説明に集中していた。
- 主体的に本を手に取り、表紙や中身を確認する様子が見られた。内容や選び方について自分から相談に来る生徒が多く見られた。
- PPによる視覚的な支援は有効だった。プリントで見るよりも生徒の興味関心を引き出すことができた。
- 主体的に紹介したい内容を帯に表していた。自分で選んだ本であることが主体性を引き出していた。
- お互いの作品にコメントをすることで、対話的な学習になっていた。

12

考察

- ねらい「文章を読んでわかったことを伝えたり、感想を持ったりすることができる。」について、ICTを活用したことでねらいに迫ることができたのではないか。
- 学習課題を工夫することで単元を通して「主体的」「対話的」「深い学び」の要素を配置することができたのではないか。
- 発展課題として模擬店のポスターを作成したが、実際の場面で生かされたかは不明でした。

題材名	セルマネチャレンジ～現場実習明け～		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・現場実習で感じたことから、今後の取り組みを考えることができる。 ・ランニングの基準になる目標を決めることができる。 		
学習時間	2校時：10：00～10：45	担当	○保木本 チャレンジ担当者
場所	体育館		
指 導 略 案			
時 間	学習項目	学習活動	指導上の留意点
10:00	集合 挨拶	各クラス縦1列で整列する。 ・環、福、生は1列で整列する。 気を付け（静止）、礼（3秒）、気を付け（静止）の方法を行う。	時間厳守で集合する。 身だしなみの確認（服装） 礼の仕方、気を付けの姿勢を確認する。
10:02	本時の内容	今日の目標、流れを確認する。	
10:03	現場実習を終えて	①現場実習を通して働くことについて大切だと感じたことに1から3の順番を付ける。 ②つけた項目に対して、チャレンジでどのように取り組みたいかを記入する。	・各クラスの生徒の様子観察をしていただき、うまくできていない生徒へ個別に指導をお願いします。
10:20	基準の目標設定	①ランニングの記録をまとめる。 （ポイント） ・目標の差があることを知り、今後その原因について考える。 ②基準になる目標を設定する。	
10:35	まとめ	①これからのチャレンジで大切にしたいこと ・ちょい努力について ・姿勢保持に向けた取り組み ・話の聞き方など	
10:40	挨拶	気を付け（静止）、礼（3秒）、気を付け（静止）の方法を行う。	身だしなみの確認（制服の着方） 礼の仕方、気を付けの姿勢を確認する。

※時間が残ったらカラテビクスを一度入れます。

☆持ち物：セルマネノート（バインダー、ファイル）、筆記用具

☆服装：ジャージ

- 1 現場実習を終えて『働く上で大切に感じたこと』、『働く上で今の自分に足りないこと』から3つ選び、順位を付けてください。

身に付けたい力	内容
健康を管理する力	体調管理ができる。
	ご飯を食べる。
	よく寝る。
	体力をつける。
	心のケア
きちんと力	服装や身だしなみを整える。
	美しい姿勢を保つことができる。
やる気と行動力	自主的に取り組むことができる。
	意欲を保って活動を続けることができる。
コミュニケーション力	挨拶・返事ができる。
	適切な言葉遣いができる。
	正しい姿勢で話を聞くことができる。
その他	苦手なことに対してもあきらめずに取り組むことができる。
	気持ちに左右されずに活動することができる。

- 2 選んだ項目について今後のチャレンジや日々の生活でどのように取り組むかを書いてみよう。

選んだ項目	今後の取り組み方について

【残りのチャレンジの取り組みについて】

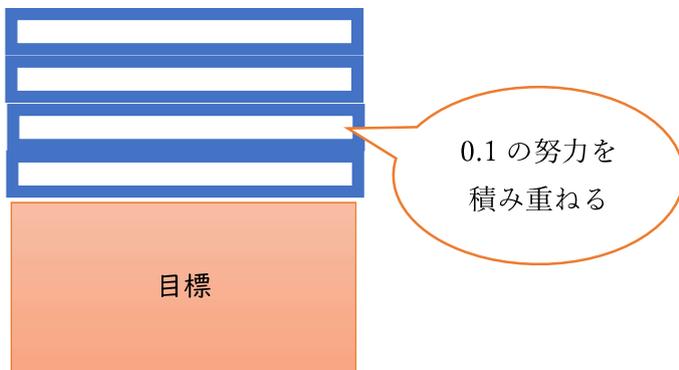
①取り組みの差をなくすためのマネジメント（毎回同じ活動やそれ以上の活動ができる準備）



【目的・ポイント】

- ・日々の生活のマネジメント（睡眠、食事、心のケア）
- ・気持ちを保って活動に取り組む
（嫌だなー、やりたくない気持ちとどう向き合うか）

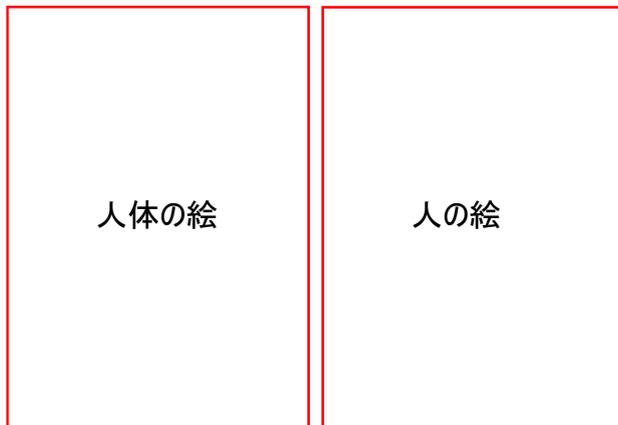
②ちょっと努力（略してちょい努力）



【目的・ポイント】

- ・少し（0.1）の努力を毎回積み重ねる。
積み重ねた結果、体力向上を目的とする。

③姿勢保持のさらなる強化（様々な姿勢の経験）



【目的・ポイント】

- ・体幹部分の強化（引き続き、肩甲骨、姿勢作りはやる）
- ・様々な姿勢での運動やトレーニング
（働く姿勢作り）

④話を聞くなどの立ち振る舞いの強化



【目的・ポイント】

- ・話を始めたら手を止めて相手を見る。
- ・報告するときは、自分から相手の近くに来てする。
（セルマネノートを提出するときなど）

※皆さんの様子を見て、気になる点を伝えていきます。